

中間市水道事業

水道利用者アンケート集計結果

(平成20年度実施)

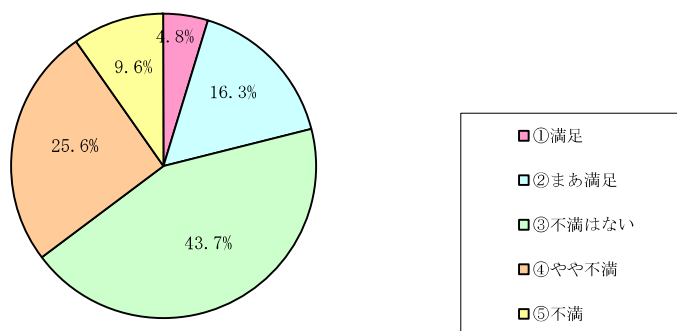
中間市水道事業あり方検討委員会用に抜粋

中間市上下水道局

2. 水道事業サービス等について

【2-1】

現在の水道サービスの満足度について、当てはまるものを1つご回答下さい。



質問	回答数 (人)	比率 (%)
①満足	16	4.8%
②まあ満足	54	16.3%
③不満はない	145	43.7%
④やや不満	85	25.6%
⑤不満	32	9.6%

図 3.1.7 (1) 【2-1】 回答結果

満足～不満はないと回答した人が全体の6割以上を占める。

①～③ (満足から不満はない) と回答した人と、不満がある (④、⑤) と答えた人を年齢別に集計すると図 3.1.7 (2) のようになる。

年齢別にみると、若い年齢層ほど水道サービスに対する不満を持つ人の比率が多く、年齢層が上がるほど不満はないと答える人の比率が大きくなる傾向がある。

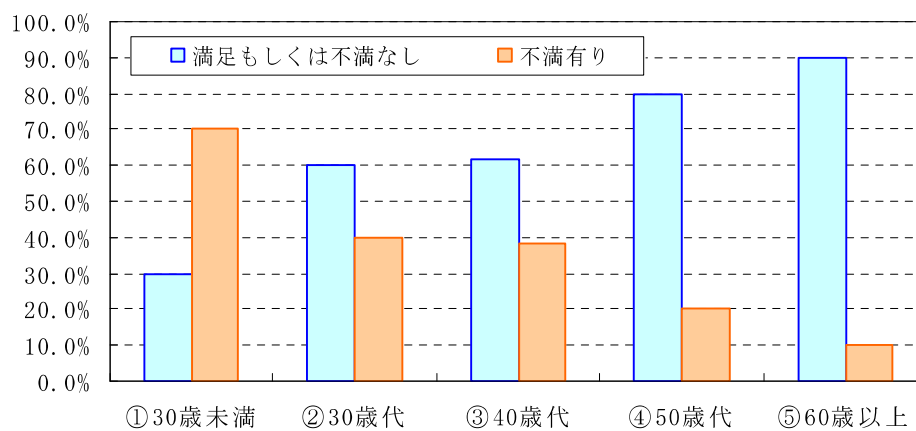


図 3.1.7 (2) 【2-1】 回答結果 (年齢別集計)

【2-2】

2-1で④、⑤と回答された方にお聞きします。水道サービスに対する不満は何でしょうか？

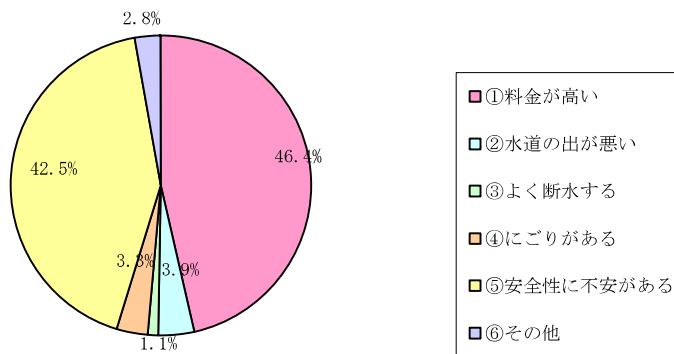


図 3.1.8 【2-2】 回答結果

水道サービスに対する不満として、料金が高いこと、安全性に不安があることに意見が集中している。

【2-3】

水道料金についてどのような感想をお持ちですか？当てはまるものを1つご回答下さい。

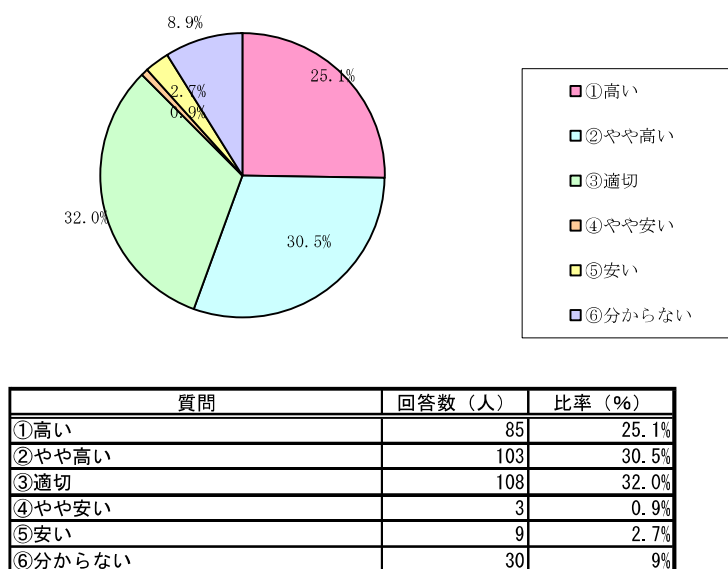


図 3.1.9 (1) 【2-3】 回答結果 (単純集計)

水道料金については 55%以上の方が高いという感想を持っており、適切～安いと答えた人の比率 (約 35%) を大きく上回っている。

これを年齢別にみると図 3.1.9 (2) のようになるが、60 歳以上を除き、年齢階層ごとの特徴はみられない。

また、家族構成別に集計して図 3.1.9 (3) に示す。

家族数の多い世帯の方が水道料金に対して負担が大きいと感じていると言える。

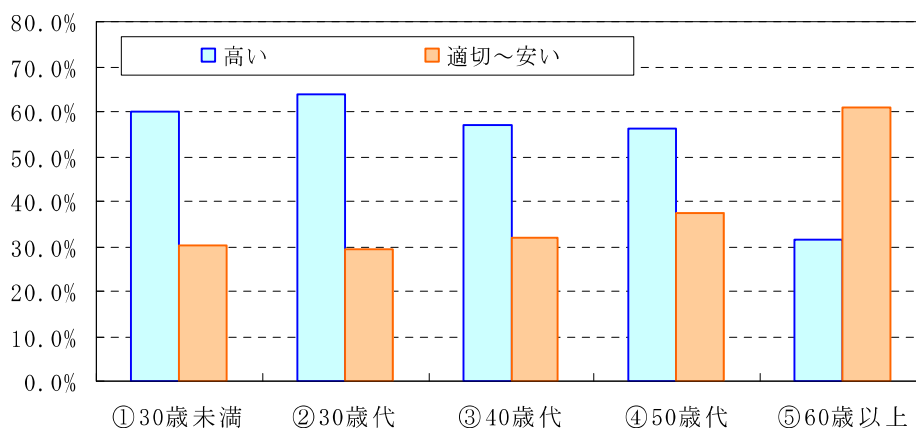


図 3.1.9 (2) 【2-3】 回答結果 (年齢別集計)

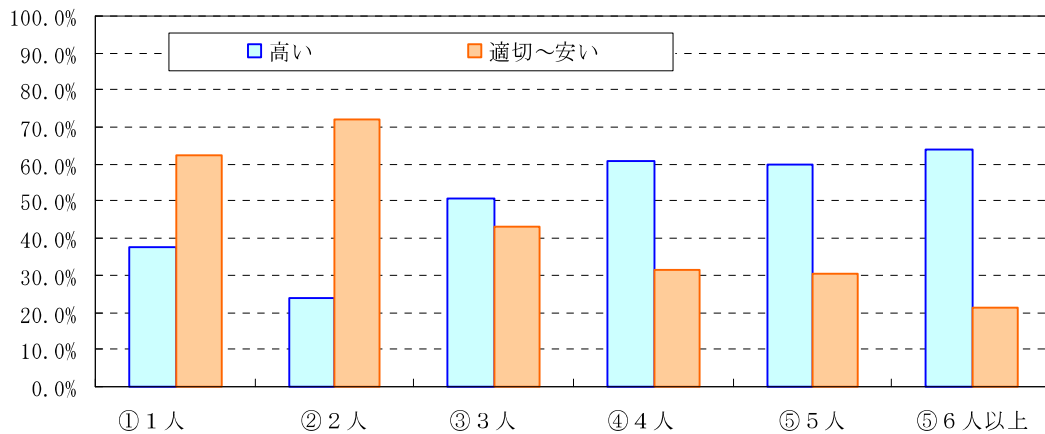
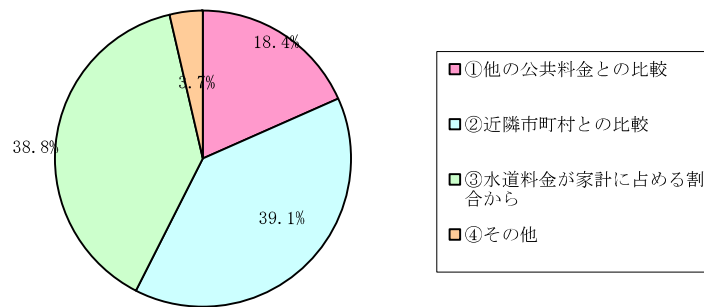


図 3.1.9 (3) 【2-3】 回答結果 (家族構成 (家族数) 別集計)

【2-4】

2-3で、選ばれた基準を当てはまるもの1つご回答下さい。



質問	回答数 (人)	比率 (%)
①他の公共料金との比較	54	18.4%
②近隣市町村との比較	115	39.1%
③水道料金が家計に占める割合から	114	38.8%
④その他	11	3.7%

図 3.1.10 【2-4】 回答結果

近隣市町村との比較、家計に占める割合で8割近くを占めている。

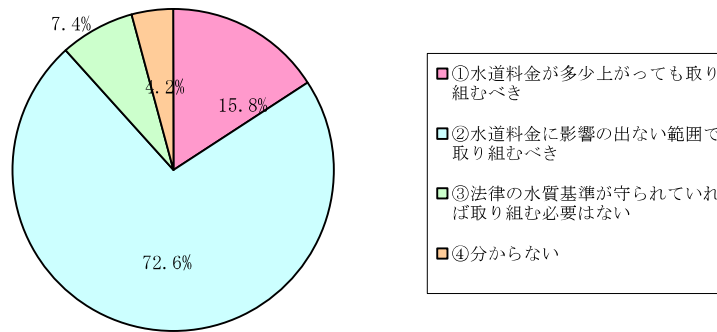
その他意見にみられるとおり、下水道料金とセットになっていることが原因で、より「水道料金が高い」という感想を抱く一因となっている可能性がある。

また、本市は北九州市からの転入が多いことから、水道料金が安価な北九州市との比較から、「水道料金が高い」と感じる人の割合が多いことが考えられる。

3. 水道事業の施設整備について

【3-1】

水道水の水質(味・におい)をさらに良くすることについて、どのように思われますか？



質問	回答数 (人)	比率 (%)
①水道料金が多少上がっても取り組むべき	53	15.8%
②水道料金に影響の出ない範囲で取り組むべき	244	72.6%
③法律の水質基準が守られていれば取り組む必要はない	25	7.4%
④分からない	14	4.2%

図 3.1.17 (1) 【3-1】 回答結果

水質をよくすることについて、必要性は感じながらも値上げは望まないという意見が大多数と考えられる。

年齢階層別、また、水道水質への安心、不安についての設問であった【1-1】の回答を基とした集計結果を図 3.1.17 (2)、図 3.1.17 (3) に示す。

年齢階層による傾向の違いはあまり見られない。若い年齢層よりも 40 歳代以上の年齢層の方が、若干ではあるが、水道料金が上がっても水質を浴すべきと考えている人が多い。

また、水道水質に対して不安を感じているからといって施設整備に対して積極的な姿勢を有しているとも言えない。

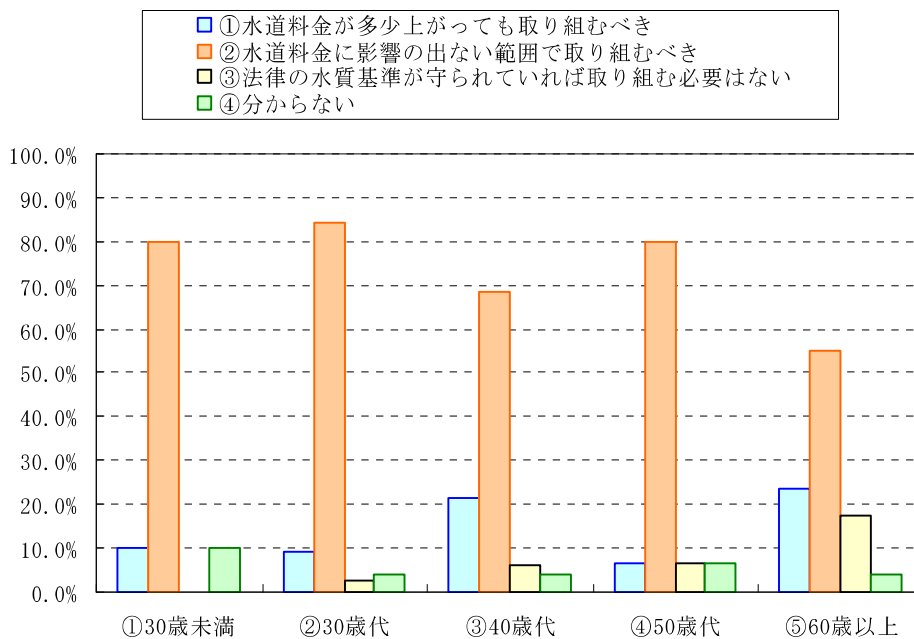


図 3.1.17 (2) 【3-1】 回答結果 (年齢別集計)

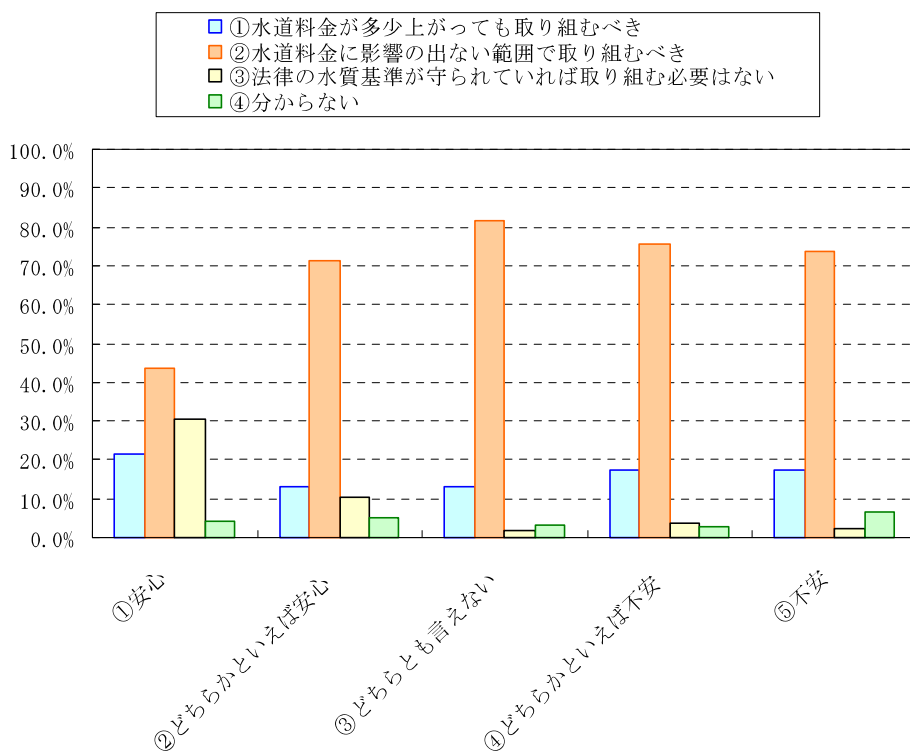
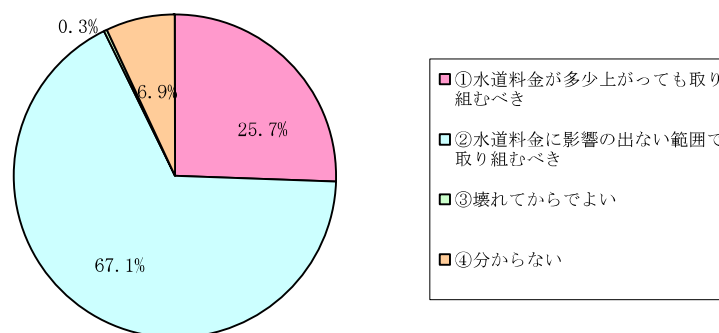


図 3.1.17 (3) 【3-1】 回答結果 (【1-1】 回答者別集計)

【3-2】

今後どのように老朽化施設の更新へ取り組むべきと思われますか？



質問	回答数 (人)	比率 (%)
①水道料金が多少上がっても取り組むべき	85	25.7%
②水道料金に影響の出ない範囲で取り組むべき	222	67.1%
③壊れてからでよい	1	0.3%
④分からない	23	6.9%

図 3.1.18 (1) 【3-2】 回答結果

老朽化施設の更新についても、【3-1】と同様、必要性は感じながらも値上げは望まないという意見が大多数と考えられる。また、壊れてから出ようと考えている人はほとんどない。

「水道料金が多少上がっても取り組むべき」と考えている人の比率は、【3-1】の同質問における選択比率よりも大きいことから、老朽化施設更新の方が水質改善よりも優先度が高いという意識であることを示唆する。

次に、年齢階層別の集計結果を図 3.1.18 (2) に示す。

年齢層上であるほど「水道料金が多少上がっても取り組むべき」と考えている人の比率が高くなる傾向が見られる。

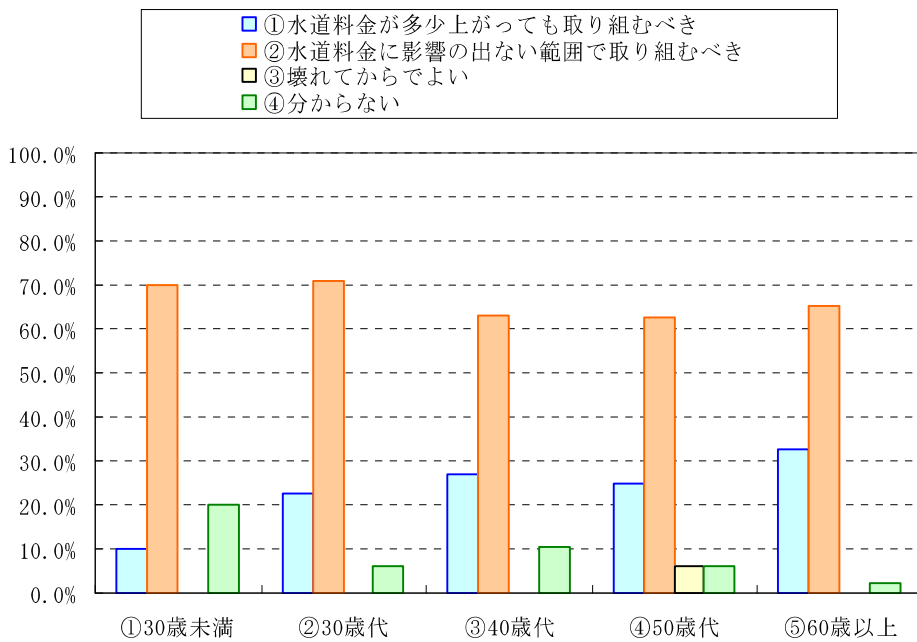
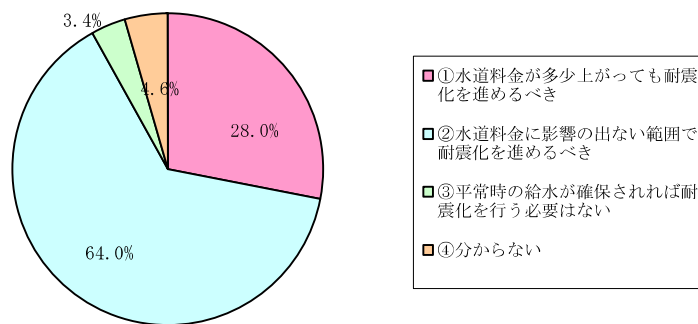


図 3.1.18 (2) 【3-2】 回答結果 (年齢階層別集計)

【3-3】

水道施設の耐震化を進め、地震災害などに強い水道施設とするための事業についてどのように思われますか？



質問	回答数 (人)	比率 (%)
①水道料金が多少上がっても耐震化を進めるべき	92	28.0%
②水道料金に影響の出ない範囲で耐震化を進めるべき	210	64.0%
③平常時の給水が確保されれば耐震化を行う必要はない	11	3.4%
④分からない	15	4.6%

図 3.1.19 (1) 【3-3】 回答結果

耐震化についても、【3-1】、【3-2】と同様、必要性は感じながらも値上げは望まないという意見が大多数と考えられる。

次に、年齢階層別の集計結果を図 3.1.19（2）に示す。

年齢層上であるほど「水道料金が多少上がっても取り組むべき」と考えている人の比率が高くなる傾向が見られる。

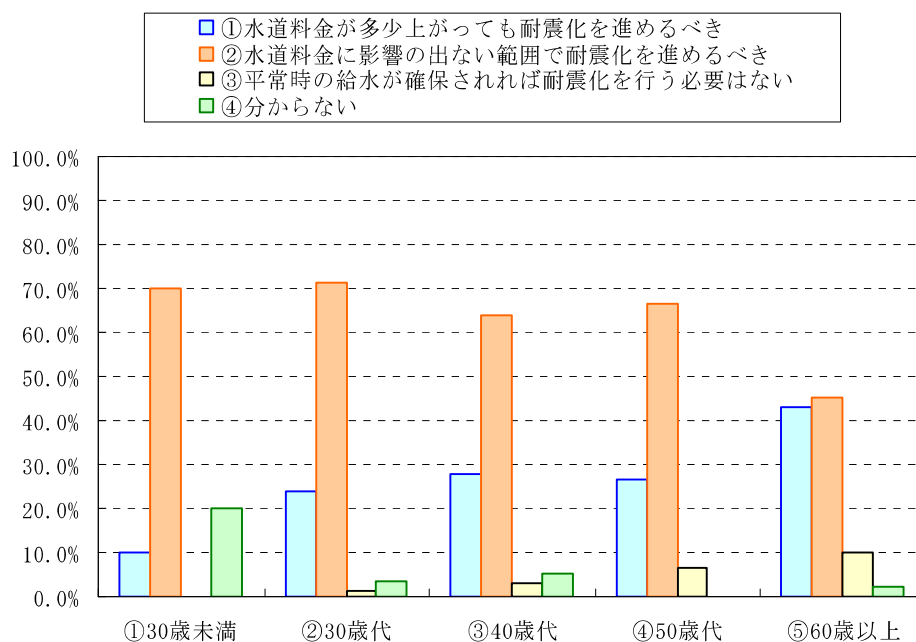


図 3.1.19（2） 【3-3】 回答結果（年齢階層別集計）

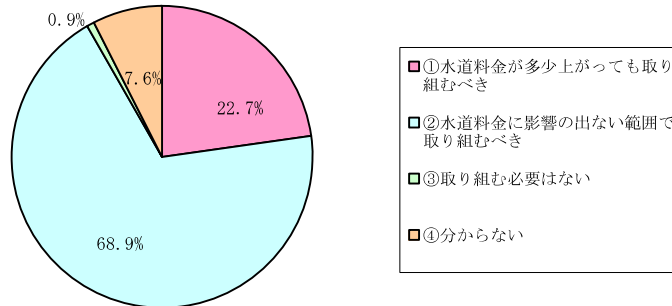
【3-4】

上下水道局の水道施設において、温暖化ガス排出量の少ないクリーンなエネルギー発電を導入するなど環境対策へ取り組むことについてどう思われますか？

【3-1】～【3-3】と同様、必要性は感じながらも値上げは望まないという意見が大多数と考えられる（集計結果は次頁図 3.1.20（1））。

次に、年齢階層別の集計結果を図 3.1.20（2）に示す。

年齢層が上であるほど「水道料金が多少上がっても取り組むべき」と考えている人の比率が高くなる傾向が見られる。



質問	回答数(人)	比率(%)
①水道料金が多少上がっても取り組むべき	75	22.7%
②水道料金に影響の出ない範囲で取り組むべき	228	68.9%
③取り組む必要はない	3	0.9%
④分からない	25	7.6%

図 3.1.20 (1) 【3-4】 回答結果

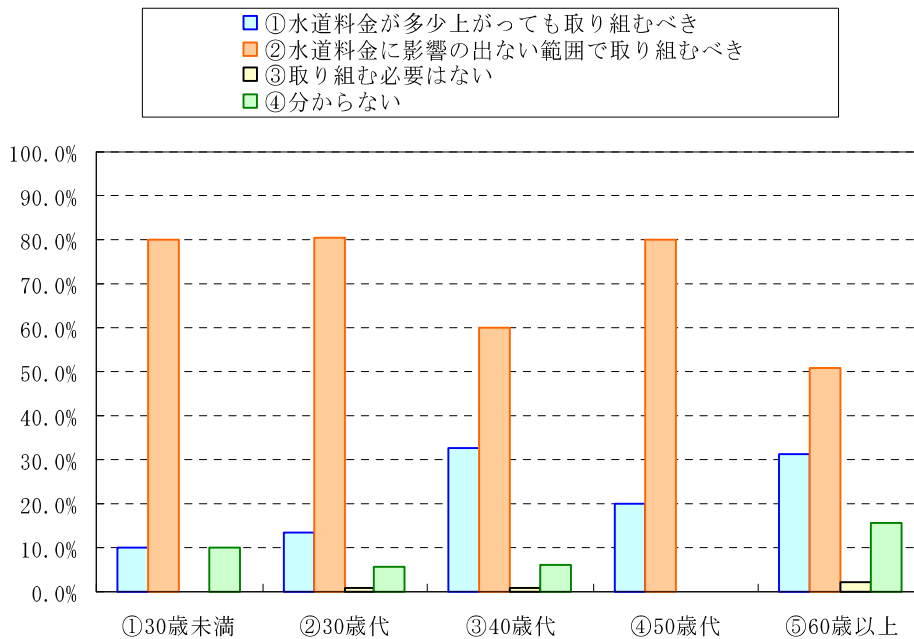


図 3.1.20 (2) 【3-4】 回答結果 (年齢階層別集計)

4. 水道事業への要望等について

【4-1】

水道にとって重要なことは何とお考えですか？

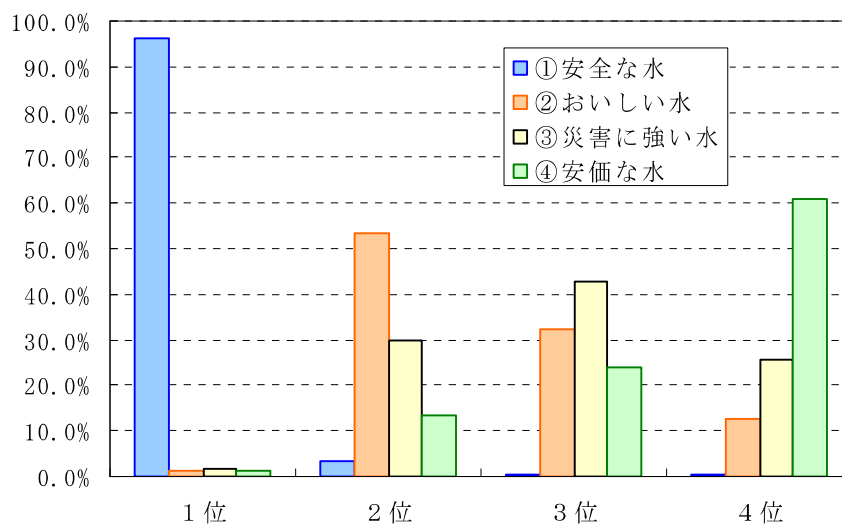


図 3.1.21 【4-1】 回答結果

安全な水、おいしい水、災害に強い水、安価な水の順に重要と考えられていると判断出来る。ただし、安価な水は最も重要度が低い結果となっているが、【3-1】～【3-3】では料金負担増を伴う施設整備は望まないという結果であった。

【4-2】

今後の水道事業に対する要望として重要だと思う順に3つご回答下さい。

においの少ない水、おいしい水の供給が最も多く、次いで湧水や地震等災害に強い水道、その次に安価な水道、環境に優しい水道の順であると判断出来る（集計結果は次頁図 3.1.22）。

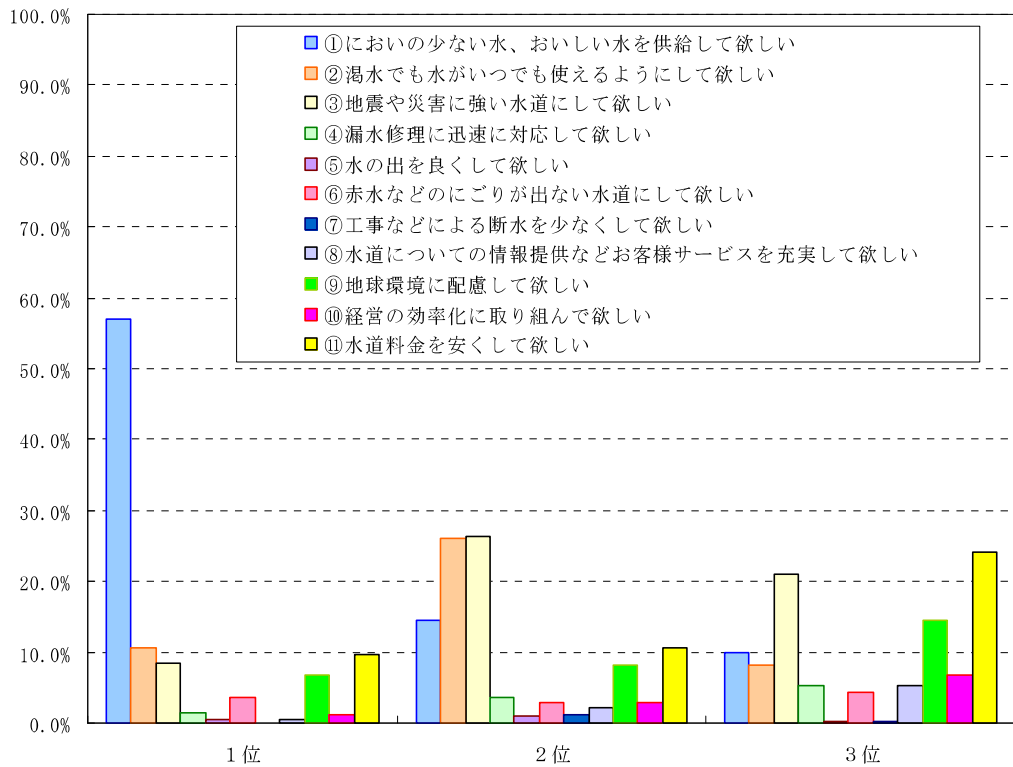


図 3.1.22 【4-2】 回答結果

【4-3】

その他水道事業に対する御意見をお聞かせ下さい。

寄せられた意見について、同種意見でグルーピングし、その数をまとめて表 3.1.2 に示す。

表 3.1.2 水道事業に対する意見

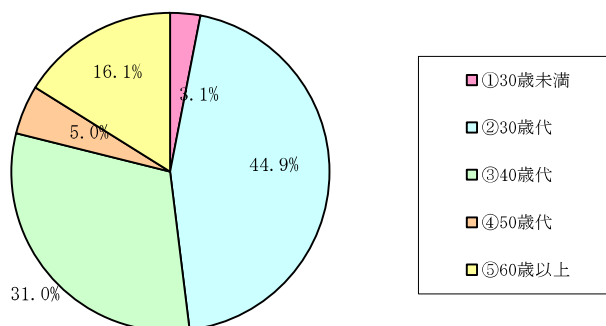
内容	意見数
①安心、安全な水道供給に対する要望	19
②水道料金に関する意見（現況、将来見込みとも）	14
③水道の広報に関する意見・感想	11
④苦情	7
⑤下水道に関する意見・要望	10
⑥その他	17

安心安全な水に対する要望、水道料金に対する意見・要望が多く、一方で、水道事業が何をしているのか分からない、もっとPRして欲しいと言った要望も多数みられた。今後様々な事業を行うに当たり、需要者に対する説明（リスクコミュニケーション）が非常に重要になると考えられる。

5. 回答者について

【5-1】

回答されている方の年齢について、当てはまるものをご回答下さい。

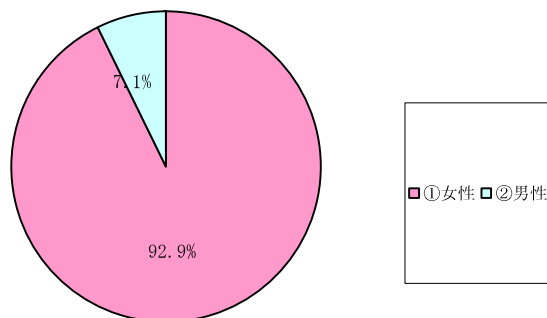


質問	回答数（人）	比率（%）
①30歳未満	10	3.1%
②30歳代	145	44.9%
③40歳代	100	31.0%
④50歳代	16	5.0%
⑤60歳以上	52	16.1%

図 3.1.23 【5-1】 回答結果

【5-2】

回答されている方の性別をご回答下さい。

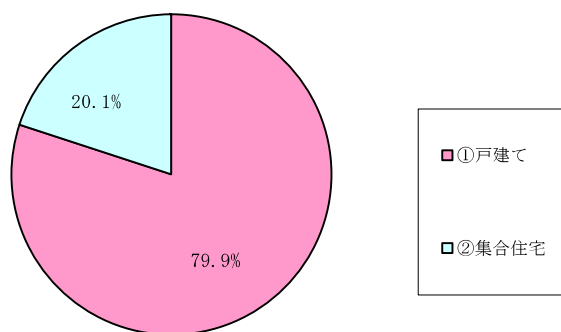


質問	回答数 (人)	比率 (%)
①女性	300	92.9%
②男性	23	7.1%

図 3. 1. 24 【5-2】 回答結果

【5-3】

回答されている方の住居形態について、当てはまるものをご回答下さい。

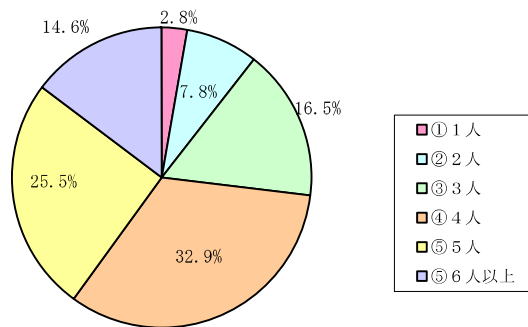


質問	回答数 (人)	比率 (%)
①戸建て	258	79.9%
②集合住宅	65	20.1%

図 3. 1. 25 【5-3】 回答結果

【5-4】

回答されている方のご家族の家族構成について、当てはまるものをご回答下さい。



質問	回答数(人)	比率(%)
① 1人	9	2.8%
② 2人	25	7.8%
③ 3人	53	16.5%
④ 4人	106	32.9%
⑤ 5人	82	25.5%
⑥ 6人以上	47	14.6%

図 3.1.26 【5-4】 回答結果